

2010年度

科目名	比較文学		
担当教員	林 進		
配当	教育4	コード	53180
開期	通年	講時	金曜日3限
単位数	4		
授業テーマ	日本文学と西欧文学の比較		
目的と概要	三島由紀夫、トーマス・マン、川端康成、谷崎潤一郎、カフカ等、古今東西の作家の文学作品をテーマ別に比較しながら、あるいは文学と他の芸術・学問分野を比較検討しながら、現代社会における文学の意味と機能を考える。映画ビデオ等も適宜活用しながら解説する。		
成績評価法	二つの学期末のレポート(70%)と平常点(30%)で評価する。		
テキスト	プリント配布		
参考書	『三島由紀夫とトーマス・マン』林進著/鳥影社、その他授業中に紹介する。		
履修に当たっての注意・助言			
講義計画			
第1回	オリエンテーション——比較文学とは何か		
第2回	小説と叙事詩(1) 小説の理論——三島由紀夫『潮騒』とトーマス・マン『トニオ・クレイガー』		
第3回	小説と叙事詩(2) 古典主義美学と近代の分裂——三島『潮騒』とマン『トニオ・クレイガー』		
第4回	愛の不能(不感症)——三島由紀夫『音楽』と精神分析		
第5回	愛の悲劇——ソフォクレス『オイディプス王』と三島由紀夫『熱帯樹』		
第6回	文学と病気(1)——トーマス・マン『魔の山』と堀辰雄『風立ちぬ』(1)		
第7回	文学と病気(2)——トーマス・マン『魔の山』と堀辰雄『風立ちぬ』(2)		
第8回	愛の孤独——三島由紀夫『愛の渇き』とトーマス・マン『ヴェニスに死す』		
第9回	三島由紀夫と映画——『からっ風野郎』から『人斬り』へ		
第10回	表層のエロス(皮膚と筋肉)——谷崎潤一郎(『刺青』)と三島由紀夫		
第11回	学生起業家とヤミ金融——光クラブ事件と三島由紀夫『青の時代』		
第12回	美男へのレッスン(スター誕生)——美輪明宏と三島由紀夫と『黒蜥蜴』		
第13回	ルサンチマンの美学——ニーチェと三島由紀夫『金閣寺』(1)		
第14回	力への意志——ニーチェと三島由紀夫『金閣寺』(2)		
第15回	まとめ		
第16回	若さと老いの美学(サド・マゾヒズム文学)——三島由紀夫と谷崎潤一郎『痴人の愛』『鍵』		
第17回	仮面の文学——トーマス・マンと三島由紀夫		
第18回	変身とシュルリアリズム——カフカ『変身』と安部公房『赤い繭』とダリ『記憶の固執』		
第19回	武士道(1)——三島由紀夫『剣』(1)		
第20回	武士道(2)——三島由紀夫『剣』(2)		
第21回	教養小説——トーマス・マン『魔の山』		
第22回	アンチ教養小説(1)——ギュンター・グラス『ブリキの太鼓』(1)		
第23回	アンチ教養小説(2)——ギュンター・グラス『ブリキの太鼓』(2)		
第24回	エロティシズム(1) タブーの侵犯——三島由紀夫『春の雪』(1)		
第25回	エロティシズム(2) 愛の死——三島由紀夫『春の雪』(2)		
第26回	孤独の侵犯——カフカ『審判』と安部公房『友達』		
第27回	政治と欺瞞——三島由紀夫『鹿鳴館』(1)		
第28回	偽りのワルツ——三島由紀夫『鹿鳴館』(2)		
第29回	二つの死——川端康成と三島由紀夫		
第30回	まとめ		